

令和3年度奥州市空き家等実態調査の結果について

奥州市市民環境部生活環境課空家対策室

1 趣旨

市では、「空家等対策の推進に関する特別措置法」（空家法）の制定を受け、平成27年度と平成30年度に、地域の実情に精通している行政区長各位のご協力をいただきながら空き家の実態調査を実施し、市内の空き家数を把握しております。

前回の調査から3年が経過し、既存空き家の解体または売買等による利活用が進められている反面、居住者の死亡または施設入所等による新規の空き家も増加しております。

そこで、前回調査で把握した空き家の現況を確認するとともに、新規の空き家の把握について、再び行政区長各位のご協力をいただきながら調査を実施したものです。

2 調査内容

(1) 空き家現況確認

前回調査で報告のあった空き家の現況確認（解体済みまたは居住や利用のあるものを空き家から除外）

(2) 新規空き家調査

前回調査以降に新たに空き家になったもの、前回の調査から漏れたものの拾い出し

3 調査期間・調査対象

調査期間 令和3年5月12日から6月30日まで

調査対象 333行政区のうち330行政区を対象に調査を実施

※除外内訳は、行政区全体がアパートの2行政区（前沢）と全体が市営住宅団地の1行政区（衣川）。

4 回答状況

330行政区のうち302行政区から報告がありました（回答率91.5%、11月30日時点）。

※未報告の28行政区のうち、既登録空き家のない4行政区は新規の空き家はないもの、既登録空き家のある24行政区は変更がないものとして集計しました。

5 調査結果

地域	H27	H30	R3					R3 調査後	増減 R3-H30	増減率 R3/H30
			調査前	解体済	居住等	減少計	増加計			
	A	B	C	D	E	F=D+E	G	H=C-E+F	H-B	H/B
水沢	979	1,092	1,100	61	115	176	312	1,236	144	13.2%
江刺	774	968	963	15	47	62	215	1,116	148	15.3%
前沢	222	269	269	13	14	27	74	316	47	17.5%
胆沢	172	204	206	7	15	22	67	251	47	23.0%
衣川	45	70	70	1	2	3	14	81	11	15.7%
合計	2,192	2,603	2,608	97	193	290	682	3,000	397	15.3%

この調査の結果、調査後の空き家件数は3,000件で、この3年の間に差引397件の空き家が増えていたことがわかりました。空き家になった原因は、居住者の死亡または施設入所等によるものが圧倒的に多い状況です。

新規で報告された空き家につきましては、令和3年9月から11月にかけて所有者等へのアンケートを実施しており、管理状況や利活用の意向を確認しております。現在、集計作業中ですので、集計結果は後日あらためて公開予定としております。